

概要版

新スリムシティさっぽろ計画

礼幌市一般廃棄物処理基本計画



SAPP_RO いちばん! 減らそう 100g

~ごみのいちばん少ないまちへ みんなで 3R~







2018年(平成30年)3月 札幌市

第1章

計画の策定にあたって

☆ 計画の策定にあたって

- ◆ 札幌市一般廃棄物処理基本計画「新スリムシティさっぽろ計画」は、札幌市や社会の情勢を見据え、今後 10 年間のごみの減量・リサイクルと適正処理に関する方向性を定める計画です。
- ◆本計画では、これまで築きあげてきた市民・事業者・行政の協働、関係団体との連携による取組を一層推進し、これまでのごみ減量・リサイクルを踏まえたより高いレベルでの 3R を行っていくこととしています。
- ◆本計画を通じて、改めてごみの減量・リサイクルへの取組を一層推進することはもちろん、私たちの生活のあり方についても考え、環境首都・札幌を宣言した都市として、地球環境に貢献するという役割を果たしていくことを計画の理念とします。

❖ 3R とは?

◆以下の3つの行動の頭文字を取ったもの。平成12年に制定された「循環型社会形成推進基本法」において、環境へ与える負荷がより小さい行動を優先するよう、行動の優先度が定められています。なお、3Rのうち「リデュース」と「リユース」をあわせて「2R」と呼び、本計画では2Rの取組について、重点的に取り組むこととしています。



❖ 計画期間

◆ 2018 年度(平成 30 年度)から 10 年間を計画期間として、計画の目標年度を 2027 年度とします。

❖ 計画の位置付け

◆本計画は、廃棄物処理法に基づいて策定するもので、国の方針や計画を踏まえつつ、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」や「第2次札幌市環境基本計画」との整合を図り、長期的・総合的な視点から廃棄物部門の個別計画として、方針及び目標並びに施策を提示するものです。

❖計画策定の背景

スリムシティさっぽろ計画の策定 [2008(H20).3]

新ごみルールの開始 [2009(H21).7~]

- ◆家庭ごみ有料化
- ◆「雑がみ」「枝・葉・草」の分別区分の新設 等

前計画

2008 (H20).4 ~ 2018 (H30).3

家庭から出る廃棄ごみ量の大幅な減量を達成! (清掃工場1か所を廃止)

スリムシティさっぽろ計画(改定版)の策定 [2014(H26).3]

- ◆生ごみの減量・リサイクルの推進
- ◆ 紙類・容器包装プラスチックの適正排出に向けた取組推進

世界

◆国連で採択された「SDGs」*において、環境や資源・廃棄物問題を含む取組の新たな目標の設定

※貧困や格差がなく気候変動の緩和された持続可能な世界の 実現に向けた、2030年までに目指すべき新しい世界の目標 のこと

世界や国の動き・ 札幌市の関連計画 や社会情勢

玉

- ◆ 3R のうちリサイクルよりも優先的に行うべき 2R (リデュース・リユース)の取組の推進
- ◆災害廃棄物対策の必要性

札幌市

- ◆ 「循環型社会の構築」 (札幌市まちづくり戦略ビジョン)
- ◆ 目前に控えた人□減少と急速に進行する**高齢化への対応**

世界や国が目指す方向性を踏まえつつ、市民のニーズや生活スタイルなどの変化に対応しながら、ごみ減量・リサイクルの取組推進が必要

新たな計画の 策定 「環境首都・札幌」を目指して更なるごみの減量・リサイクルに取り組ん でいくため、「新スリムシティさっぽろ計画」を策定

※計画期間:2018年度(平成30年度)から2027年度(10年間)

第2章

スリムシティさっぽろ計画(前計画)の総括

❖ 前計画の成果

- ◆ 2009 年(平成 21 年)7 月から開始した**新ごみルールの実施により、ごみ量は大きく減少** し、その効果として、清掃工場1か所の廃止と埋立地の延命化を図ることができました。
- ◆更に改定計画では、燃やせるごみの中で大きな割合を占める生ごみについて、ごみ減量 キャンペーン等の実施を通じて重点的に取組を行った結果、生ごみの減量が進み、廃棄 ごみ量は政令市の中でもトップレベルの少なさとなりました。
- ◆ このようにごみ量が大きく減少し、その後も減少が継続していることは、新ごみルール を契機に**市民一人ひとりが高い環境意識を持って、継続してごみの減量・リサイクルに** 取り組んでいることによるものです。市民が高い目標に向かって行動し、ごみ量を大き く減少させたことが、前計画の大きな成果と言えます。

❖ 前計画の主な取組

- ◆「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の
 ◆ 古着回収の開始 有料化
- ◆集団資源回収の促進
- ◆小型家電リサイクルの開始
- ◆「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集の導入
- ◆ ごみ減量キャンペーンの実施
- ◆ 出前講座「クリーンミーティング」の実施

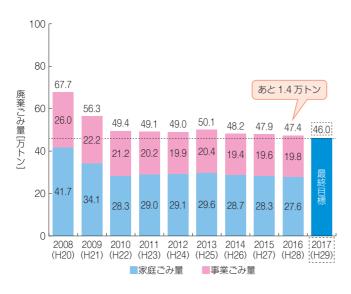
❖ ごみ量管理目標の達成状況

◆ 「焼却ごみ量」は計画改定後横ばいで推移していますが、このほかの目標については、 基準年度 [2012 年度(H24 年度)] と比較して、いずれも数値が向上しています。

| ごみ量管理目標 | 基準(2012) (H24) | | 現状(2016) (H28) | | 目標(2017) (H29) | 達成状況 |
|---------------------------|-------------------|---------------|-------------------|---|-------------------|-------------|
| ①廃棄ごみ量全体 | 49.0 万トン | \Rightarrow | 47.4 万トン | > | 46.0 万トン | あと 1.4 万トン |
| ②家庭から出る廃棄ごみ量 (1人1日当たり) | 413g | \Rightarrow | 386g | > | 380g | あと 6g |
| ③家庭から出る生ごみ量 | 11.4 万トン | \Rightarrow | 9.6 万トン | < | 10.4 万トン | 目標達成! |
| ④リサイクル率 | 26.7% | \Rightarrow | 27.9% | < | 30.0% | あと 2.1 ポイント |
| ⑤焼却ごみ量 | 43.8 万トン | \Rightarrow | 43.2 万トン | > | 41.0万トン | あと2.2万トン |
| ⑥埋立処分量 | 9.8 万トン | \Rightarrow | 8.7 万トン | > | 7.8 万トン | あと 0.9 万トン |

❖ ごみ量管理目標の実績値の推移

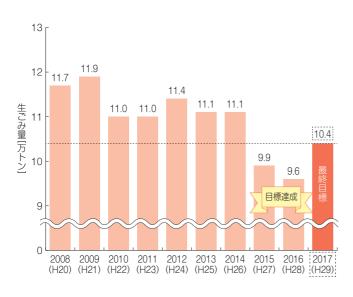
●廃棄ごみ量全体●



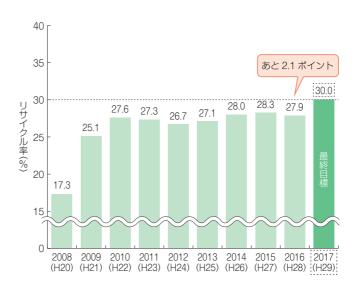
●家庭から出る廃棄ごみ量(1人1日当たり)●



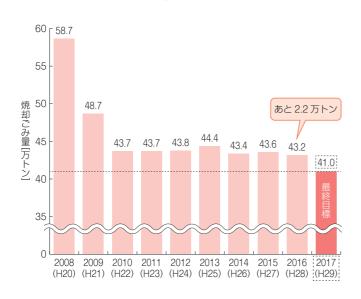
●家庭から出る生ごみ量●



●リサイクル率●



●焼却ごみ量●



●埋立処分量●

